

# 佐世保・長崎でバーコード出張講座開催

—長崎県が県産品のブランド化、販路拡大を推進—

当センターでは、「県産品の振興を進めるうえで必要なバーコード（JANコード）がついていない商品が多くある」、「販路拡大を考えている事業者にはバーコード表示を普及させるための説明会を行ってほしい」などの要請に応じて全国各地に出向いて説明する、「バーコード出張講座」を行っている。

今回、長崎県文化観光国際部物産ブランド推進課（以下、物産ブランド推進課）から依頼を受け、2016年10月3日にアルカス佐世保（佐世保市）、4日に出島交流会館（長崎市）で「バーコード出張講座」を開催した。

講座には主に県内の農畜水産加工品メーカー、関係生産団体、公共団体など2会場で、43名の参加があった。

## ●営業力強化セミナーと合同で開催

物産ブランド推進課では現在、県産品のブランド化を推進するため、広告媒体等を活用したPRや販路拡大に向けた取組を実施している。

2016年3月に首都圏での情報発信拠点としてアンテナショップ「日本橋 長崎館」（東京・日本橋）を開設。カステラ、チャンポンといった定番商品や地元農畜水産加工品、特産品等のブランド化と県産品全体の販路拡大の取組を積極的に進めている。

また、継続的な取り組みとして、首都圏、関西圏の百貨店・高級スーパー等において県産品フェアを実施

している。

その一環で物産ブランド推進課では販路開拓・拡大のため農畜水産加工品メーカーなどと百貨店、スーパーのバイヤーとの商談会を開催しており、事業者が商談を契機に新商品の取引を始めるには、バーコード（JANコード）表示が必要不可欠であることから、今回、地元県産品メーカーを対象にした「ながさき『食の魅力』総合発信事業営業力強化セミナー」と合同で「バーコード出張講座」を開催することとなった。

講座では、初めてバーコードを導入する事業者に対して「自社商品のブランドオーナーがGS1事業者コードを登録申請・取得し、商品ごとにアイテムコードを設定する。次に、JANコードを設定した商品パッケージにバーコードをソースマーキング（印刷表示）することが必要である」と説明した。

GS1事業者コードによるバーコード（JANコード）の表示をすることにより、より効果的に百貨店、スーパーへの販路拡大につなげるこ

とが期待できる。

## ●県産品フェアでバーコード活用

物産ブランド推進課では2017年2～3月にかけて、首都圏を中心に百貨店・高級スーパーで「長崎県フェア」の開催を予定している。

県産品を販売する店舗では、商品にソースマーキングされているバーコードを読み取り、POS（Point of Sale）レジで効率的な精算業務を行っている。

講座では「レジ精算での活用のほか、バーコード（JANコード）は単品商品ごとの在庫管理や入出庫検品などの正確な商品管理で活用される」ことを説明した。

なお当センターでは、引き続き「バーコード出張講座」の依頼に対応しています。

「出張講座」の詳しい申込方法などはホームページをご覧ください。

（広報室）



佐世保会場風景